

### 表紙および中表紙の体裁に関する注意

指導の形態により，主任指導教員と指導教員の両方を記載する場合と，主任指導教員のみを記載する場合があります．不明な場合には，直接指導を受けた先生に問い合わせてください．

### 表紙および中表紙（1 枚目）に関する注意

注意 1：英語で執筆した場合にも，表紙の体裁は以下（2 ページ目，もしくは 3 ページ目）のようにしてください．なお，可能な限り，題目以外を日本語で記載してください．

注意 2：英語で執筆した場合にも，中表紙（1 枚目）として添付してください．なお，可能な限り，題目以外を日本語で記載してください．

### PDF 版作成時の注意

PDF には，中表紙（1 枚目および 2 枚目）と本文すべてを含めてください．

2020 年 2 月 1 日作成

令和 1 年度

# 修 士 論 文

題 目

インフラ点検用クアッドロータのための  
UWB 通信及びオプティカルフローセンサを  
用いた位置制御に関する研究

申 請 者 中村 翔太 (18623117)

主任指導教員 澤田 祐一 教 授

指導教員 東 善之 助 教

京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科

機械設計学専攻

(表紙および中表紙(1枚目)の体裁2)

平成〇〇年度

# 修 士 論 文

題 目

複雑な機械の構造と強度に

---

関する研究

---

申 請 者 機 械 太 郎 (000000000)

主任指導教員 熱 流 一 郎 教 授

京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科

機械設計学専攻

# **Study on position control for quad rotor aiming for infrastructure inspection using UWB communication and optical flow sensor**

by

Shota Nakamura

A thesis submitted

to

Division of Mechanodesign,  
Graduate School of Science and Technology

in partial fulfillment of the requirements

for the degree

of

Master of Engineering

Chief Advisor: Professor Yuichi SAWADA

Advisor: Assistant Professor Yoshiyuki HIGASHI

Kyoto Institute of Technology

Sakyo, Kyoto

February 10, 2020

(中表紙(2枚目)の体裁2)  
(日本語で執筆した場合にも, 中表紙(2枚目)として添付してください.)

# Study of Structure and Strength of Complex Machines←Title を記入

by

Taro KIKAI←名前を記入

A thesis submitted  
to  
Division of Mechanodesign,  
Graduate School of Science and Technology  
in partial fulfillment of the requirements  
for the degree  
of  
Master of Engineering

Chief Advisor: Professor Ichiro SEIGYO←主任指導教員

Kyoto Institute of Technology  
Sakyo, Kyoto

February \*\*, 20\*\*

↑ 各年度の修士学位論文内容要旨提出期限に日付を合わせて下さい

インフラ点検用クアドロータのための

UWB通信及びオプティカルフローセンサを令和 1 年度 中村 翔太

用いた位置制御に関する研究

# Abstract

～How to prepare for your graduation or master's thesis using Microsoft Word for Windows～  
(実際には改ページ)

# 概要

～Microsoft Word for Windows 用修士論文テンプレート～  
使用言語が英語の場合には，和文の概要は必要ありません.  
(実際には改ページ)

# 目次

1. 緒言	1
1.1 研究の背景	1
1.1.1 ○○○	1
1.1.2 ○○○	2
1.2 研究の目的	3
2. ○○○	4
2.1 ○○○	4
謝辞	10
参考文献	10
付録	12

25mm

## 1. 緒言

この資料は、原稿作成の方法を示し、執筆要綱を補足するものです。  
(実際には改ページ)

## 2. 執筆要綱の補足

### 2.1 ページ設定・書式

2.1.1 余白 上 25mm, 下 20mm, 左 30mm, 右 10mm とする.

2.1.2 ページ番号 本文の下余白に、ページ番号を挿入する.

2.1.3 フォント 概要、目次、章、節、項、謝辞、付録、参考文献等のタイトルにはゴシック体 (sanserif typeface) を用いる. 本文には 11 ポイント程度の明朝体 (serif typeface) を使用する.

2.1.4 行間隔 和文・英文ともに 18 ポイント程度 (1 ページ約 40 行) とする.

### 2.2 式

30mm

式は中央揃えにし、式番号は右揃えにする. 例えば、以下のように記述する.

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \quad (1)$$

10mm

### 2.3 表と図

表と図の例を以下に示す. 図表内の文字が小さくなりすぎないように注意すること.

Table 1 Computational parameters.

S	...
$\Omega$	...
...	...

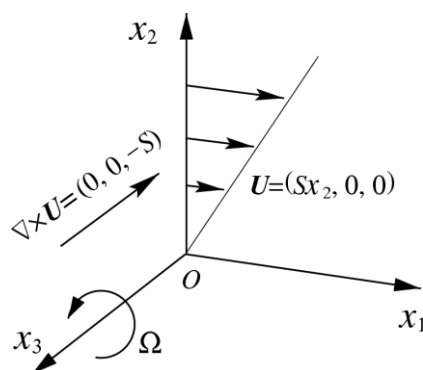


Fig.1 Rotating shear flow.

### 2.4 参考文献

以下のように記入し、' 日本らの研究<sup>(1)</sup>によると...' のように参照する。  
(実際には改ページ)

## 参考文献

- (1) 日本太郎, 赤坂次郎, 粘弾性流のレオロジ方程式に関する研究, 日本機械学会論文集, 70-578, (1967), 359-363.

20mm